

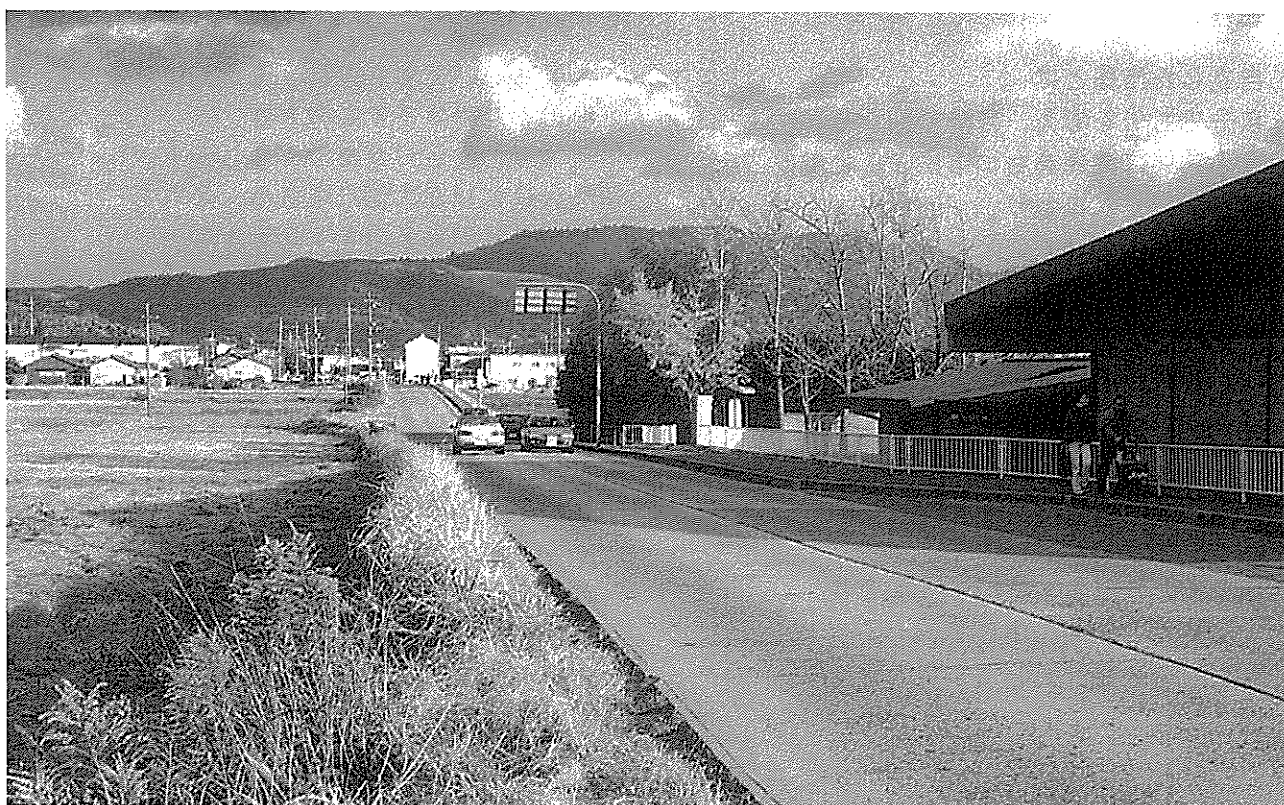
共生

奈良県生協連

2001年1月

NO.39

万葉のいぶきを求めて－(4)



平城宮遺構展示館から若草山を望む

君が行く ながて 道の長路を繰り畳ね 焼き亡ぼさむ あめ 天の火もがも
さのちがみの おとめ
狭野茅上娘子

「あなたの行く長い道を手繰り寄せ、畳んで焼き亡ぼしてしまう天の火がないものか。そんな火があれば、あなたは行かなくてもよくなるのに」何と言う激しく情熱的な歌であろうか。

時は天平10年前後の頃であろうかなかとみのあそみやかもり中臣朝臣宅守と下級女官さのちがみの おとめ狭野茅上娘子は激しい恋におちたようである。しかしこの恋は禁じられた恋であったらしく宅守は越前へと流罪となって都を離れることに。平城宮の中程を東に伸びる一条大路を通ったのであろうか。この道を東に行くと東大寺てがいもん転害門に当たり、左に折れ奈良坂を越えればやましろ山背国から越前へと続く。旅の道中に二人の詠んだ歌は63首にもものぼり熱い思いを今に伝えている。

生協の21世紀理念

自立した市民の協同の力で 人間らしいくらしの創造と 持続可能な社会の実現を

自立した市民の協同とは？

自立した市民とは、
自分でものを考え、自分で判断し、
その結果に責任をもつ市民のことです。
しかし、だれひとり、
一人で生きていくことはできません。
自立しながらも、
お互いに助け合う社会が必要です。
ここでいう市民社会は、自立した個人が
対等な関係で構成する社会です。
そこには、自立を保ちつつ、
協同する市民がくらしています。
国や民族がお互いに認め合い、
人と人とが共生している社会です。
その市民の協同の力こそ、
私たちの未来をおしすすめる力です。

人間らしいくらしの創造とは？

人間らしいくらしとは、モノだけでなく、
心のゆたかさやすこやかさ、
そして、ゆとりがあるくらしです。
一人ひとりが大切にされる、ふれあいと
ぬくもりのあるコミュニティの
創造が必要であり、
これがなければ、
人間らしいくらしはできません。
高齢者が、若者が、子どもたちが、
安心して、希望をもって、
のびのびとくらせる。
そんな人間らしいくらしがしたい。
企業の都合で押しつけられたり、
行政から与えられたりするものでなく、
みずからが創造的に作りだす。
生協の活動は、そんなくらしの創造です。

持続可能な社会の実現とは？

持続可能な社会とは、わたしたちの子どもや孫たちの世代の
経済的・社会的利益をそこなわないように、人びとがくらしを営む社会です。
いま、地球規模での環境破壊が進むなかで、わたしたちは、
地球環境を守り、限りある資源を大切にしなければなりません。
さらに、高齢社会にむけて、人びとが力を合わせ助け合う、
福祉のしくみをつくっていくことも、
持続可能な社会をつくっていくうえでの、大きな課題となっています。

〔1997年日生協通常総会決定〕

21世紀を迎えて

奈良県生活協同組合連合会
会長 繁田 實造



あけましておめでとうございます。

本来ならば、21世紀を迎えたと言うことで、希望に満ちた明るい話題を提供すべきなのでしょうが、1997年の消費税・医療費自己負担分のアップが、バブル崩壊に拍車をかけ、国民の財布の紐は年々引き締められ続けて、今日に至っております。

それに加えて、21世紀には、われわれが未だかつて経験したことのない少子・高齢社会、情報通信技術革命の時代に確実に突入することになりました。経済企画庁等は日本経済には回復の兆しが見られるようになったと、景気回復の笛を一生懸命に吹いていますが、年金制度や医療制度の改正問題、依然として低迷し続けている失業者問題など、われわれの将来の生活に対する不安を強化することはあっても、それを解消させることは望むべくもない状態にあるといえます。このことは単なる不安ではなく、千代田生命や共栄生命の行きづまりによって、老後のための蓄えまでもおかしくなるなど現実のものとなっています。その反映として消費の冷え込みは特にひどいといわれていますが、その結果、全国的にはダイエーの再建閉店、奈良でもそごうの閉店というように、目に見える形で衝撃的に現れてきております。

このような社会の変化は生協といえども回避

するわけにはいきません。従って、組合員の生活防衛のためにまず頑張らなければなりません。生協には生活文化の向上という使命があります。青い地球をこども達に残すためにも環境問題に取り組まなければなりませんし、我々の生活を根底から覆されるのを防ぐためには平和問題にも努力しなければなりません。高齢社会化に対処するために発足した介護保険制度でも運用面でのトラブルだけではなく、とり残された問題も顕らかになってきました。食の安全については従来の食品添加物や残留農薬の規制の問題以外にもダイオキシン、環境ホルモン、さらには遺伝子組み替え食品の安全性などの新しい問題が発生しています。

このようにちょっとみただけでも21世紀においても引き続き生協が先頭に立って追求し、解決しなければならない問題が多々あるといえます。

21世紀の年頭にあたり、生協の21世紀理念である「自立した市民の協同の力で、人間らしいくらしの創造と持続可能な社会の実現を」の旗を高く掲げ、生協運動を発展させるためにも安定的な事業の確保に向けて組合員、職員が力をあわせて足元を固めていくことの必要を痛感しています。

皆さん、共に全力を出しましょう。



21世紀理念	・・・2	食の安全	・・・8	平和	・・・11
新年のあいさつ	・・・3	環境	・・・9	広がる協同・くらしの輪	・・・12
生協大会	・・・4	福祉	・・・10	つながる連帯・友好の輪	・・・14

第11回生協大会

わたしたち安心して食べたい

2000年10月28日、特別養護老人ホーム「あすなら苑」において「わたしたち安心して食べたい」をテーマに第11回奈良県生協大会を開催しました。県ならびに各友誼団体よりのご来賓、会員生協理事長、役員や学生組合員など135名の参加があり、交流を深めました。また、I部では消費生活協同組合の発展に功績のあった生協役員に対して知事表彰が行われ、続いて豊田歯科医院院長豊田裕章氏を招き「健康を守る食生活」のテーマで講演を行いました。II部では奈良県生協連会長賞表彰式が行われ2団体が受賞しました。



増井副知事のあいさつ

繁田会長のあいさつ

景気低迷、消費冷え込みの中で生協も全国的に苦しく県下の生協も厳しい状況下にあるが、組合員が生活防衛という形で動いていたことから、堅実な暮らしを求めて動き出している。このことは生協の原点に戻ることで、新たな生協活動の余地が出てきているということである。生協事業としては大変しんどい時期ではあるが、組合員の色々な活動は活発で、春を待つ前の状況ではないかと思う。希望を持って元気を出して、更にこの大会でエネルギーを蓄積して春に向けてお互いに力を蓄えましょう。

第11回奈良県生協大会

主催 奈良県生活協同組合連合会



講演「健康を守る食生活」 豊田歯科医院院長 豊田裕章氏

私達の健康を守るためには食生活が大切であり、歯の健康のためにも、生活習慣の中の食生活を見直したい。歯周病はストレス、喫煙、間食、脂肪のとりすぎでおこる生活習慣病だ。歯周病や虫歯をなくすためには、食生活の改善が大切となる。ごはんを主食とする和食は食物繊維も多く、良く噛むことで唾液が出、毒消し効果が高くなる。和食のメニューでバランスのよい食生活を心がけて欲しい。



ご出席いただいたご来賓のみなさん (順不同)

- ・奈良県副知事 増井 勲様
- ・県生活環境部県民生活課 山澤忠輝課長・松田源治課長補佐・川内輝明係長・山口政胤主査様
- ・奈良県農業協同組合中央会総括部部長 中村正之様
- ・奈良YMCA所長 藤井辰男様
- ・奈良県原爆被害者の会(わかくさの会)会長 市原大資様
- ・奈良県地域婦人団体連絡協議会会長 西田ミサヲ様
- ・京滋・奈良地域センター 横山治生様
- ・日本生活協同組合連合会関西地連 八巻 平様
- ・京都府生活協同組合連合会 竹内絹代様



ご来賓のみなさん

知事表彰

市民生活協同組合ならコープ理事長 逸見 啓氏

設立発起人として市民生活協同組合ならコープ（当時は奈良市民生活協同組合）を設立し、以後非常勤役員としてならコープの基盤をつくり、1995年以降も理事長として、その発展に大きく寄与されました。



増井副知事より

会長賞

今年度は「環境・リサイクル推進賞」への応募はなく、「福祉・文化推進賞」に2団体が選ばれました。

☆ならコープサークル

すずらん劇場実行委員会

☆ならコープサークル

ワーキングサークル 喫茶 み・あんど



代表 平川郁子さん



代表 山田恵子さん

☆学生のみなさんから産地見学の報告があり、最後に生協大会アピールが読み上げられました。



県立商科大生協の報告



大会アピールを読みあげる高専の学生委員

全国から祝電・メッセージをいただきました（順不同・団体名敬称略）

① 祝電

・奈良県森林組合連合会会長 北村又左衛門様

・大阪府生活協同組合連合会

② メッセージ

・岡山県生活協同組合連合会

・徳島県生活協同組合連合会

・新潟県生活協同組合連合会

・京都府生活協同組合連合会

・広島県生活協同組合連合会

・日本生活協同組合連合会

・滋賀県生活協同組合連合会

・兵庫県生活協同組合連合会

関西地連

・静岡県生活協同組合連合会

・三重県生活協同組合連合会

・全岐阜県生活協同組合連合会

・島根県生活協同組合連合会

奈良県生協連会長賞

福祉・文化推進賞

すずらん劇場実行委員会

(ならコープサークル)

親子がふだん着で行けるコンサートを

—組合員と共に歩んだすずらん劇場の15年—

1999年11月23日、ここ橿原文化会館の大ホールには開演を待つ1100人の親子が。その中には数年前から増え出した車椅子での参加者もいて、このコンサートの広がりを見ることができる。この活動のきっかけは、1984年、ならコープ創立10周年の折、地域で上映された映画「サウンドオブミュージック」に1300人も親子が参加。次も！の参加者の声にそれまでの苦勞もふっとび、当時のメンバーが中心になり、以来15年間、年1回の企画で音楽を中心にした文化活動を続けている。名称は「すずらん劇場」ならコープの中の自主活動グループとしての位置付けで。

活動のモットーは、親子で楽しめて、低料金で、わが町の音楽家との出会いで、の3つ。

15年の経過の中で赤字になったのは2回。この経験をふまえ、その後は「等身大の企画で」に留意している。この活動で自主活動の厳しさはあるが、一方で自由な企画選びが出来、それに伴って出演者との交渉、ホールの調整、PRの検討など、時には数社の新聞社を廻って「記事にして」と頼んだことも。手探りの中でこうした経験は今に全て生かされている。数年前からは、ならコープの機関紙上でのPR、OCRでの案内で申し込みができて、作業が楽になった。チラシ、プログラムの描き手は勿論組合員の家族。今では力強い協力者になっている。

また、15年の間には、地元の音楽家とのつながりも生まれ、「窓際のトットちゃん」の企画は、演奏の場が欲しい出演者、この企画に共感した局アナの両者の「無料出演」という形で実現。黒柳徹子さんの原作本の良さもあって大きな反響を呼んだ。

小さなグループの活動だが、多くの人々の温かい協力で継続出来ていることに感謝すると共に、改めて「継続は力なり」を実感している。

2000年の今年目は目下足踏み、“音楽を通して情感豊かな人間に”の思いで続けてきたすずらん劇場の活動だが、あまりにも厳しい現状を見た時、息切れせず、いい企画の送り手であり続けるため、方向性を模索中といったところ。

21世紀に向けて、今一度、組合員と共に歩めることを願っている。



手作りのパンフレット

福祉・文化推進賞

ワーキングサークル喫茶 み・あんど ♡
♡ (ならコープサークル)

家庭的なあたたかさとホットする場をめざして

9月1日、あすなら苑開苑1周年です。その中に、住んでいる人をはじめ、訪れる人たちや地域の人たちの交流スペースとして、喫茶コーナーが設けられています。この運営を、「ワーキングサークル喫茶み・あんど」を結成し活動しています。

1. 喫茶店コーナーの目的と役割

①目的

- ・ふれあいを求める人、疲れを癒す人、情報を交換したい人などに、ちょっとしゃれた空間を提供する。

②役割

- ・苑が利用者に対して提供するサービスの一つ
- ・苑の住民の交流の場
- ・苑を利用する人たちと地域社会との接点
- ・ならコープ組合員のふれあいの場

2. 喫茶コーナーの運営について（ワーカーズ運営）

- ・主体的に関わること
- ・責任を持って運営すること
- ・剰余を生み出す取り組みを協同で行うこと
このことは自ら出資し、労働し、運営に参加することで、自らの生きがいができると、社会参加を行うことにつながります。



1周年記念祭

3. メンバー

- ・あそびがき公募等で集まった組合員 15名

4. 活動して感じたこと

- ・自ら出資し、労働、運営に全員で参加しています。労働に対する賃金が必ずしも満足できるものではありませんが、この1年だけ1人として欠けることなく活動しています。入居者の利用も多くなりました。この方々のお世話がまた大変です。自らの仕事探しの活動というより、ボランティア活動そのものです。メンバー一人ひとりのボランティア精神にささえられながら、入居者の健康管理にも一役かかっています。み・あんども1周年になり、これからもますます苑になくてはならない存在として、活動を続けていきたいと思えます。

●●● 食の安全 ●●●

■ 食の安全キャンペーン ■

署名集約状況

—署名数は26万8712筆に到達!—

11月末で署名を一旦締めきり集約を行いました。友誼団体、生協組合員・職員のみなさんの取り組みの結果、目標を大きく上回る署名を集めることができました。今後は届けられた署名を確実に国会・県議会に届け「食品の安全行政の充実強化」を実現するための取り組みをすすめていきたいと思ひます。

	ならコープ分	奈良県生協連	全体
国会請願	25万1061筆	1万7651筆	26万8712筆
県議会請願			26万4212筆

* 国会のみの署名で県議会請願に署名のなかったものがありましたので、国会と県議会で差があります。

尚、全国で取り組んでいる国会請願「食品衛生法の改正と充実強化を求める請願署名」は11月末、1125万筆（目標1000万筆）に達しています。



県民から寄せられた署名用紙

議員の請願紹介承諾を求める活動

県議会請願提出に向けて、厚生委員会の全議員に協力依頼を行っています。2月議会に向けて、26万県民の願いを実現するために全会派からの紹介議員でもって請願採択をめざしています。

また、国会に向けて、地元選出の国会議員に、理解と紹介承諾を得るため懇談の申し入れを行っています。5月の議会提出に向け、全国の生協での取り組みがはじまり、11月末で約60名の議員に内諾をいただいています。

9月県議会で質問

9月県議会で、松井議員(自民党)が「奈良県の食品の安全確保と検査体制の充実について」代表質問され、知事から「今後とも食品の安全を守るため、衛生研究所の検査機能の充実を図るとともに、流通・販売・消費対策との連携を取りながら、施策の強化を図るため、庁内に食品安全対策連絡会議を設置するなど、総合的に食品の安全対策確保に努めます」との答弁がありました。

柿本知事との懇談会

今後の、奈良県の食品安全行政の充実のため、柿本知事に懇談を申し入れ、26万以上の県民から署名が寄せられていることを伝えるとともに、消費者の声が反映出来る懇話会の設置、県の食品安全に関わる基本方針の策定など、私たち消費者の願い実現のために、ぜひお力添えを賜りたいことを伝えました。

環境

ならコープの取り組み

ならコープの環境マネジメント委員会では、2000年「ならマイバッグキャンペーン」・リサイクル月間の取り組みをまとめました。

ならマイバッグキャンペーン【10月1日～31日】

奈良県環境県民フォーラム主催で県内主要スーパー（県内14企業：104店舗）とともに「買い物袋持参運動」を実施。ならコープの「持参率」は、県内主要スーパーと比較しても非常に高く、約80%となり昨年比較で1%高まった。

活動内容

- 10月2日、参加企業の店頭にて各企業が提供した買い物袋を配布。コープみみなしではサブバッグ100枚を配付
- マイかごの仕様を変更（原材料：廃プラスチック100%・価格300円税別）し、運用方法を見直す。購入者へは使用ルールチラシを作成し配付。また、POPを作成し掲示
- 10月6日、小型店を除く全店で「マイかご」を先着100名（3,000円以上買い上げの方）にプレゼント（小型店は別途対応）

リサイクル月間【11月1日～11月30日】活動内容

- 店舗売り場や共同購入チラシで環境商品（無洗米・セフターEを重点商品とする）のリサイクル啓発の活動
- 無洗米・洗剤普及キャンペーンを、環境サークルと環境委員会の協力を得て実施
- 共同購入では、リサイクル（牛乳パック・卵パック・案内書）、リユーズ（酢・しょうゆ、卵トレイまもるくん）のお知らせをあをがきやポスターなどで呼びかけ
- 店舗では、リサイクル（牛乳、卵パック、PETボトル、缶、食品トレイ）の協力を求めるサインポスターを掲示
- 店舗リサイクルコーナーのメンテナンス（パネル・掲示物など）を環境委員会で実施。各委員会に対してコープセンターなどの見学を呼びかけ、3ブロック委員会の見学を受け入れ
- 10月19日、生協の環境政策をテーマに「あすなら塾」を開催し、44名が受講（講師：吉村哲彦金蘭短期大学教授）
- 11月4日、ディアーズコープたつたがわにて、エコ祭りを開催
- 行政の環境フェアへの出展
 - ・アクリルたわし実演、コープ洗剤の販売（桜井市）・不用品バザー（奈良市）
 - ・アクリルたわし実演と天理市ごみ分別の仕方（天理市）
- 環境マネジメント活動を強化し、環境と経営改善につなげるために、店舗事業系廃棄物の分別排出をモデル店舗で実施。支所の発泡漁箱のリサイクルの拡大。生ごみ排出の削減のために、Dコープいこまは行政ルート参画。コープ六条では生ごみ堆肥機を設置し、生ごみ堆肥化リサイクルを本格的開始



奈良教育大学生協の取り組み

「輝薨祭」クリーンキャンペーン

奈良教育大学では、11月9日から12日まで大学祭が行われました。その中で、生協と提携してクリーンキャンペーンを実施。パンフレットに注意事項として記載して、参加者に呼びかけました。



輝薨祭パンフレット

福祉

あすなら苑一周年祭

9月23日、あすなら苑一周年祭が、あすなら苑で開催されました。あすならホールでは、阪奥大和郡山市長のあいさつの後、平安時代の雅楽の衣装をまとった天理教校専修科・親里高校の雅楽部の演奏と、仲宗根稔さんの独唱が行われました。また、イベント広場では金魚すくいやわた菓子、やきそばなどの模擬店や手作り作品、フリーマーケット等の店が並び、雨にもかかわらず700名の参加者でにぎわいました。当日の売上げの一部として84,000円を、あすなら苑に贈りました。



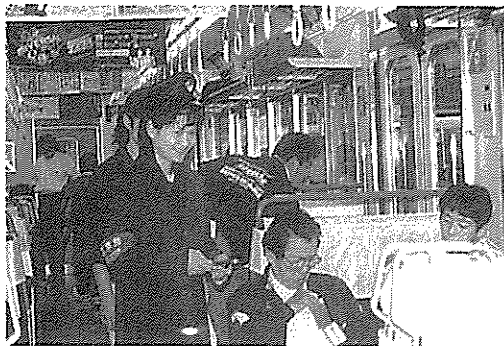
仲宗根稔さんの独唱



バザー風景



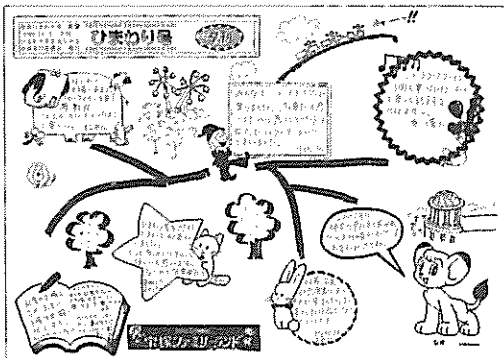
天理教校専修科・親里高校雅楽部のみなさん



切符を拝見

ひまわり号列車走る

11月3日、今年で12回目のひまわり号列車（ひまわり号を走らせる奈良実行委員会主催）は、秋晴れの中、約390名を乗せ宝塚に向けて出発しました。朝7時25分に高田駅を出発し、11時過ぎに宝塚駅に到着。車椅子や目の不自由な参加者にはボランティアが付き添い、グループにわかれて宝塚ファミリーランドへと向かいました。昼食後、ジェットコースターに乗ったり、手塚治虫記念館見学や買物をしたりと、それぞれ楽しい一日を過ごしました。奈良県連からは5名がボランティアで参加し、車椅子の介助や夕刊発行のお手伝いをしました。



ひまわり号夕刊

平和

核兵器廃絶地球市民会議ナガサキに参加して

県連事務局 入口俊彦

11月17日～20日、核兵器のない平和な21世紀を実現するための20世紀最後の国際集会在、核戦争被爆最後の地となることを願い、被爆地長崎において開催されました。

これまで生協は、市民平和行進をはじめ、様々な平和の取り組みを進めてきました。しかし一方で、新たなインドパキスタンの核実験やアメリカ・ロシアの臨界前核実験などが行われ、ともすれば、生協の地道な活動が無力に感じることすらありました。そして今回、歴史的な集会に参加して、核兵器廃絶への具体的な道筋が反核NGOのリーダーの人達によって示され、私たちのような地道に平和を訴える活動と相まって、確実に前進しているということを実感しました。

土山委員長があいさつで「この集会は感性に訴える部分と論理に訴える部分の両面から討議すること」とおっしゃったように私自身論理を学ぶ点が弱かったと反省しています。今回の分科会では、各分野のリーダーの方の意見をもとに論議を深めるという形で「核兵器禁止条約」「核抑止論の克服」「非核地帯と核の傘」「核爆発のない核実験」「弾道ミサイル防衛と宇宙の核化」「NGOの役割」「核軍縮と平和の文化」「ヒパクシャフォーラム」「青少年フォーラム」「女性フォーラム」をテーマに進められました。



21世紀核兵器廃絶へ

実行委員会委員長 土山秀夫氏 あいさつ(概略)

集会の特徴

- ・20世紀最後の国際的な反核NGO集会在被爆地ナガサキで開かれる
- ・人々が思想、信条、党派を超えて一市民の資格で参加する”草の根”反核集会
- ・NGO(民間組織)と長崎県ならびに長崎市(行政組織)との共同開催
- ・日本で初めて世界各国の反核NGOのリーダーたちが一同に会し、今世紀中の活動を踏まえて、来るべき21世紀に向けての新たな展望を切り拓く集会

核兵器をめぐる状況

- ・今年5月のNPT再検討会議での画期的成果。しかし、核兵器廃絶に至る具体的な道筋や目標達成期限についての合意に至らなかった

集会の意義

- ・こうした現状を打破するための方策として、被爆地の感性に訴える部分と、より論理に訴える部分との両面から討議すること

広がる協同・くらしの輪

第22回 JA全国大会

(全国農業協同組合中央会主催)

10月12日、東京国際フォーラムにおいて、全国から約4千人の代表者が集まり開催されました。大会は向こう3年間に取り組む事業・組織の改革、運動展開等、グループの意志統一を図り、広く告知するために開催され、『「農」と「共生」の世紀づくりに向けて』と題して、新世紀の農業のあり方について討議がなされました。食料・農業・農村の21世紀を切り拓くJAグループの取り組みの中で、安心・安全な食料の供給等による消費者との連携などが意思統一されました。



近畿農政局との懇談会

10月18日、近畿農政局において、伊藤局長はじめ農政局から25名、生協から14名の参加で開催されました。伊藤局長より「日本の食料自給率の向上、食生活の見直し、生産者と消費者の連携・関係強化の課題、安全・安心の確保、表示問題など生協のみなさんと連携して進めたい」等のあいさつがあり、田辺企画調整室長の報告のあと、生協連から提出した「課題と要望」について意見交換を行いました。

第12回 奈良県林材大会

10月7日、高取町リベルテホールにおいて「見直そう森林の役わり木の文化」をテーマに開催されました。ジャーナリストの寫信彦氏が「大好機時代—21世紀への道」と題して講演し、21世紀、行政からの保護がますますむずかしくなる中、行政依存から脱却し、主体的な努力が求められている。特に、消費者女性の感性をつかむことの大切さを、最近の成功事例にふれて話されました。



奈良教育大学生協食生活相談会

10月25日、教育大学生協食堂において開催されました。学生の毎日の食生活の内容に対して管理栄養士からのアドバイスに25名、骨密度検査に70名の参加がありました。



近畿地区行政合同防災訓練

11月10日、天理市の白川ダム周辺で震度7の直下型地震を想定して、近畿地区行政合同防災訓練が行われました。訓練用食材等を供給するため、ならコープから炊き込みごはん4千食分の食材等の手配をし、当日搬送しました。訓練参加者は8,766名、245団体の参加がありました。



関消懇による関西電力との 2000年度「事業・経営問題懇談会」

11月13日、関西電力本社において、八木取締役はじめ関西電力13名、関消懇11名の参加で開催されました。事前提出の質問書に基づき「料金改定」「経営効率化計画」「グリーン電力料金」「連結決算」「プルサーマル計画」などについての回答と質疑応答が行われました。

関西消費者団体連絡懇談会総会

11月13日開催し、活動報告、財務報告の承認、活動方針はこれまで通り公共料金問題について行うこと、運営世話人の承認を行いました。

2000年度 第2回 生協・行政協議会

11月16日、共済会館やまどにおいて、生協・行政協議会を開催しました。奈良県の食品の安全行政の充実強化、福祉活動の強化、食品リサイクル法に向けた取り組みへの支援、消費者行政の充実等の要望に対して回答をいただき、意見交換を行いました。



ノーモア・ウォーのつどい

12月3日、「コープたかだ」において、沖縄をテーマに開催されました。午前には「ウチナーの心・ヌチドゥ宝（沖縄の心・命こそ宝）」と題して、崎浜盛喜氏（奈良沖縄県人会副会長）の講演があり、午後には「対馬丸ーさよなら沖縄ー」のアニメが上映されました。また、沖縄料理の試食や、沖縄の歴史、原爆、ユニセフパネル等が展示され約70名の参加がありました。

つながる連帯・友好の輪

奈良労済生協

—全労済通信教育「ホームヘルパー養成講座
(2級課程)」終了式を開催—

全労済奈良県本部は、12月2日(土)にホームヘルパー2級課程養成講座(通信教育)を受講した23名の終了式を、共済会館「やまと」にて行い、無事終了しました。社会貢献活動の一環として、ホームヘルパー養成講座(2級課程)を厚生省の定める「ホームヘルパー養成研修事業(2級課程)」として、1997年より実施し、今年度より4回目となります。(3級課程は1994年から3回開催)4月より開校し、9月から10月にかけて5ヵ所の施設にて実習し、この12月の終了式と大変長期間の受講となっていますが、一昨年より広く勤労市民の方々にも受講しやすい通信教育型として実施し、仕事を持ちながらも無理なく受講できるということで好評を得ています。現在では、ヘルパー講座も2・3級課程を7年間実施し、延べ225名の方を輩出することができました。これも組合員・関係各団体の皆さまのご理解・ご協力により、今日まで継承することができ、ありがとうございます。今後とも、全労済運動へのご理解と、社会貢献活動への参画のご協力の程、よろしくお願いいたします。

(事業推進部推進2課 上田)

奈良工業高等専門学校生協

みなさま、明けましておめでとうございます。昨年(去年)は学生委員会を中心に、他生協や産地・取引先への訪問・交流や学習の場に参加させていただき、多くのことを学ぶことができました。今年も組合員とともに、学びや交流の場への参加や生協らしい取り組みを旺盛に進めていきたいと考えています。また本年2月に、奈良高専生協は設立5周年を迎えます。今後より一層、キャンパスに根ざした「生協」をめざして、組合員のお店づくりを進めていく決意です。本年もよろしくお願いいたします。

(専務理事 松尾)

ならコープ

2001年春の班長会、店舗グループ・利用者懇談会を2001年2月12日(月)～3月23日(土)の期間に開催します。今回は、『コープ商品を中心に生協の良さ再発見』をテーマとしてすすめます。以下の3つを主な目的にして取り組みます。
①ならコープが組合員19万人と大きくなる中でコープの良さや基本的な取り組みが十分に伝えきれていないのではないのでしょうか。今回はこうした現状に着目し、くらしのあらゆるシーンでコープが見直され、コープの良さがわかり、組合員どうしの教えあいが広がるような機会にします。具体的には商品を中心に市販品との違いや疑問や不安などを話し合い「だからコープいいのよ!」といったことを出し合いながら楽しく学べる場になるよう工夫します。
②商品活動では、ブロック委員会商品チーム活動や、地域委員会モニター活動で取り組んだ開発・改善商品の紹介・学習をすすめ、店舗・共同購入の利用結集に繋がる取り組みとします。
③事業面では、組合員の声に応えた共同購入の個人別仕分け実施のお知らせをします。

(組合員活動課 中野)

樟蔭女子短期大学生協

21世紀になりました。今年4月から樟蔭女子短期大学は大阪樟蔭女子大学となり、4年制になります。今までの短大生のライフスタイルとは異なったものとなるでしょう。学内の滞留時間など大学が活気づく時期に是非生協としても「楽しい大学」「自分たちで楽しくする大学」に貢献したく思っています。学生委員会も元気で「楽しいことしたい」「欲しいものがあるお店にしたい!」といった取り組みを、この間ゆっくりではありますが、自分たちの思うようにやって来ています。生協の事業も好調で(大学のご協力があったのですが…)赤字を解消していく展望が見えてきました。やはり組合員が集って作っていく生協が本来の生協であって、21世紀に残る生協はこれではなくては!と確信する今日この頃です。

(店長 羽賀)

奈良県立商科大学生協

お店、自分達でかえられるんだ！今、1回生の林さん、黒田さんを中心に学生委員が元気！立命館APU見学や大津の学生ネットワーク会議を通じて、自分達のお店づくりを進めています。商科大のお店で「ベジサンド」を食べたいという思いを自分達の手で実現しました。作り方を奈良女のパートさんに教えてもらい、学祭で50個販売し、組合員や先生からも「おいしい、生協で出して欲しい」と要望され、30日に100人に試食してもらいました。並行して、食の安全署名を60人以上集めました。また、「お菓子の試食会をしたい」と奈良の山星屋の見学を兼ねて仕入れに行きました。12月13日に生協で試食会をしました。先日、初めて店舗会議（学生アルバイト、学生委員、理事長と専務理事）を行い、商科大学生協のお店が良くなるための、真剣な論議をしました。商科大生協が日々変化しています。明るく、あたたかい店になってきました。皆さんも是非お立ち寄り下さい。
(理事 竹内)

奈良女子大学生協

—初めて創る後期企画「サンタのよりみち」—
ウインディの2回生が引退し、1回生が自分達で創る、12月8日の全学生に向けたクリスマス企画「サンタのよりみち」、連日飾り付けの準備や、メニューの打ち合わせ、お知らせチラシの配布など楽しく奮闘しています。

花小町では、カフェのクリスマスプレゼント企画で「トライフル」「プチシューツリー」のデザートを目替わりでアレンジして楽しいお店になりました。飾り付けもかわいく工夫をし、デザートは連日行列で飛ぶように売れました。また、食堂をもっと楽しくする委員会ができ、店長の屋根さん、専務、パートさん（押川、和井田さん）花小町

（アッコ、真帆ちゃん）で現状の改善点を話し合いました。これからも、色々コミュニケーションを深めたいと考えています。

(専務理事 竹内)



西吉野柿農園にて



GPセンターにて

奈良教育大学生協

あけましておめでとうございます。
新世紀を迎え、奈良教育大学生協は大きく飛躍する年となりそうです。2001年度から正規職員が1名増員されることとなります。これは、京都・滋賀・奈良の大学生協が加盟する大学生協京都事業連合の理事会で、小規模生協の自立を支援するために、ゼロないし一人区の生協へ正規職員の配置を決めたからです。（奈良地区では他に県立商科大、高専、樟蔭女子短大の会員生協が対象となります）これまで生協に対して組合員の方々から、様々な要望が出されてきましたが、専務一人とパート職員だけの運営体制ではなかなか期待に応えきれませんでした。大学自身も教員採用、教育系の再編、独立法人化など困難な問題が起こっていますが、これから生協が軸となって学生と教職員が楽しく、元気になるキャンパスづくりをすすめて行けたらいいな、と思っています。そのためには、力になってくれる人が増えることに生協理事会は大いに期待しています。
(専務理事 村井)

奈良県生協連

—県内学生委員による産地・工場見学—

10月14日、ならコープ品質管理室⇒西吉野産直センターへ10人、10月18日、奈良コープ産業⇒若草食品⇒GPセンター（鶏卵集配場）の見学へ7人が参加しました。今回、県内学生委員初めての取り組みとなり、有意義な1日となりました。10月28日の生協大会では、見学に参加した学生から、新たな発見の驚きや感想について報告がありました。（事務局長 入口）

県連日誌

- 10/10 清掃業務審議会専門部会
- 14・18 産地・工場見学
- 17 県連臨時総会
- 18 近畿農政局との懇談会
- 28 第11回奈良県生協大会
- 31 近畿地区生協府県連協議会

- 11/3 ひまわり号列車
- 10 近畿地区行政合同防災訓練
- 13 関西消費者団体連絡懇談会総会
- 16 生協・行政協議会、第4回理事会

- 12/3 ノーモア・ウォーのつどい
- 7 県連責任者会議
- 14 第3回事務局会議



お知らせ

☒ 消費者契約法説明会

とき 2月6日(火) 2時～4時
ところ 県文化会館 2階集会室A・B
申し込み 奈良県 消費者行政係
Tel 0742-24-1194



県連臨時総会開催

10月17日、県連事務所において、監事欠員に伴う臨時総会を開催しました。監事推薦を今西裕氏(労済生協監事)とする、信任投票が書面によって行われ、議長に中井代議員、議事録署名人に松田・知浦代議員を選出し、書記に入口事務局長を指名。開票の結果、21名中20名の投票があり、議長を除く19名の信任で承認されました。

編集後記

▽二十世紀の末に自分の中でもいろいろ整理して二十一世紀を迎えたいと思った。しかし整頓は「捨てる」ことから、まるで美德のように溢れるモノを目の前に「捨てる」技法、「捨てる」テクニクに翻弄されていたかも。捨てた先のことまで考えただろうか、捨てる勇氣や工夫もだいじだが「捨てる」知恵も捨てがたいのでは？！ 持続型循環社会構想のため、これ以上地球へ負荷をかけることは許されない。二十一世紀の出發にあたり「捨てる」ことについて妙に哲学的になつてた私である。(恭)

▽二十一世紀は女の時代とも言われている。最近自転車の二人乗りの若い男女で、女性がペダルをこぎ、男性が後ろに乗っているのを何度か見かけた。なんか変？と思うが、本人達には違和感はないさそう。男は女を守らねば…という感覚は二十世紀に捨てて行く一つか？私と同年代の女性はその子育ても一段落し、旅行に行ったり趣味の活動を始めている。女性のパワーを捨てては行かない、どこかで生かして行きたい。(鈴)

▽県連一〇年誌を編集していて、これまで生協は多くの人々との協力の力で、多くのものを創りあげてきたんだなあ、改めて思いました。そして、二十一世紀にすばらしい生協の理念とICAの協同組合原則でもって、日本および世界の中で、生協の果たすべき役割が明確にされていることに感激し、生協で働いていることを誇りにさえ思えました。事業を取り巻く状況はきびしく、ともすれば、理念や目的を見失いがちですが、きびしい時こそ、原則に立ち返り、ロマンを語りあうことが大切なのではないだろうか。(俊)

奈良県生活協同組合連合会

〒630-8136 奈良市恋の窪 1-2-2 ならコープ気付

TEL 0742-34-3535 FAX 0742-34-0043